（記載例）　　様式第４号

職務経歴書

No.

	ふりがな	やまなし　たろう		
	氏　　名	山梨　　太郎		
在職期間	インドに関する実務経験に該当する期間	勤務先等（会社名等）	部課・役職名等	具体的職務内容
H31　年　4　月から R4　年　3　月まで	3　年 0　月間	A株式会社	担当	
R4　年　4　月から R5　年　3　月まで	1　年 0　月間	A株式会社	マネージャー	
R5　年　4　月から R6　年　3　月まで	0　年 0　月間	B株式会社	部長	
R6　年　4　月から R7　年　11　月まで	1　年 7　月間	B株式会社	部長	
R7　年　12　月から R8　年　7　月まで	0　年 0　月間	C団体	役員	
年　月から 年　月まで	年 月間			
年　月から 年　月まで	年 月間			
年　月から 年　月まで	年 月間			
年　月から 年　月まで	年 月間			
年　月から 年　月まで	年 月間			
期間の合計	5　年 7　月間			

学校卒業後から現在（令和８年１０月３１日）までの職務経験を、経歴順に、もれなく記入すること。ただし、インドに関する実務経験に該当する期間を「インドに関する実務経験に該当する期間」欄に記入すること。

勤務先、部課・役職名等、職務内容が相違するごとに行を改めること。

インドに関する実務経験に該当する期間については、休暇・休業・休職等のため１ヶ月以上継続して勤務しなかった期間（産前産後休暇を除く。）は除くこと。

書ききれない場合、職務経歴書様式をコピーして使用すること。　　**（表面）**

表面に記入したインドに関する実務経験について詳細な内容をそれぞれ記入すること。

（裏面）